



姥(うば)山会津藩陣跡

白虎隊、鉄砲の威力
白虎隊は若松城内にあったヤーゲル銃を使用した。射程距離約二〜三〇〇メートル。価格は現在の貨幣に直すと約八万円。西軍は、スペンサー銃、射程距離約八〇〇メートル、価格は約一二〇万円。スナイデル銃、射程距離約一二〇〇メートル、価格は約九〇万円。



菰土(こもつち)山会津藩陣跡

白虎隊がいた 戸ノ口原の陣地跡

猪苗代湖岸北西、会津若松市河東・湊町の戸ノ口原には、一八六八年八月二十三日(現在の十月八日)白虎隊が西軍と戦った時の陣地跡があります。八月二十二日、白虎隊全員が集合したのは菰土山の陣地。その後、夜、新選組と交代した篠田小隊は姥山の陣地へ移動します。

戸ノ口原の戦いを描いた唯一の図
「白虎隊戦闘図」飯沼家蔵

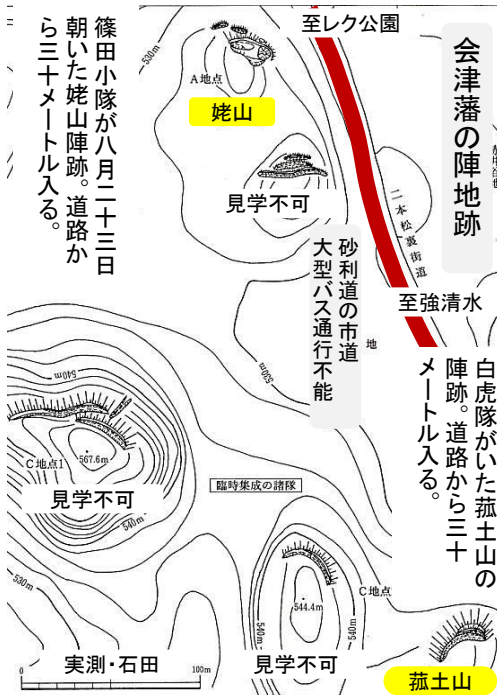


八月二十一日母成峠が破れると会津藩は、二十二日城にいた兵を総動員。戸ノ口原へは佐川官兵衛、戸ノ口原南の笹山原には西郷頼母、日橋川北の大寺(磐梯町)には萱野権兵衛を派遣します。二十二日夕方四時頃、西軍の薩摩藩川村隊が十六橋まで到達。会津藩では、大野原・強清水・戸ノ口原に胸壁(きょうへき)と呼ぶ塹壕(ざんこう)や要害と呼ぶ陣地を一日で構築します。強清水東の丘陵には、当時の陣地跡が八カ所、県立会津レクリエーション公園内には西軍の塹壕が一カ所残っています。白虎隊は道の南に山内・原田隊、北に篠田泰に分かれ、挟み撃ちにする作戦をとります。八月二十三日早朝六時頃、篠田小隊は、姥山陣地跡から東約一五〇メートルの地点に移動し西軍と撃ち合いました。敗戦後、小坂で休息しおにぎりを食べ金山から尾根道を進み飯盛山に出ました。白虎隊がいた強清水の菰土山(長さ約四〇メートル)と姥山(長さ約一〇メートルと二〇メートル)の陣地跡と、西軍の陣地跡(長さ約五四メートル)は見学ができます。市道脇にある白虎隊がいた会津藩陣地跡は、強清水地区の協力により会津古城研究会が草刈をし、清水東にある会津藩戦死者墓は地元で草刈りをしています。二〇〇一年、石田発見

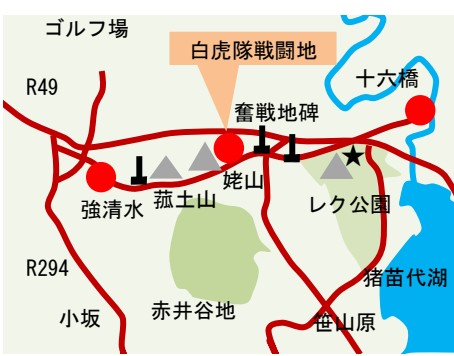


【白虎隊士墓】
強清水東にあり、村人が白虎隊士を子供と思い建てた線刻の地蔵

【注意】
熊、蛇、蚊がいます。ご注意ください。ゴミは持ち帰ります。



白虎隊の山内・原田隊は、菰土山の陣地を新選組に譲り、南一〇〇メートルにある新四郎堀(市道の南)へ移動し射撃をします。その後、赤井の小坂へ移動、西の金山に登り、尾根を南に進んで若松城に入りました。



【交通機関】R49沿い・バス不便
磐越道、磐梯河東ICから約15分
会津若松駅から約15km。
タクシーで駅から約30分。

【トイレ】★
R49沿いレク公園内にあり

【両軍の陣地跡】▲
会津藩は強清水の東に8カ所あり
西軍はレク園内に1カ所あり

【戦死者墓】↓